

## 事業計画書

事業名	環境共生のまちづくり事業
枠の種類	ネーミング事業（金紋世界鷹(みどり)と川の再生事業）
1. 事業の目的	<p>熊谷市は荒川と利根川に挟まれた自然豊かな産業文化都市として発展して来た。当会では、環境と共生するまちづくりを行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、暑い熊谷の夏を涼しく過ごす生活の方法として、打ち水を地域から発信していく。</p> <p>また、苗木を販売しながら、都市緑化づくりに貢献する。</p> <p>さらに伝統文化としてのしめ縄づくりに着目し、田植えから、材料調達までを一貫して行い、しめ縄づくりを普及拡大していく。</p>
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>(1) 法人設立の目的・これまでの成果</p> <p>本会は、2007年の最高気温を観測した翌年の2008年に発足し、当初から、打ち水を実施してきた。青年会議所や他の環境団体と協力しながら、12年間継続して来たが、4年前からは、より多くの関心と呼ぶために市内に流れる星川及び周辺で行政やさまざまな団体と協力してイベントを開催してきている。</p> <p>(2) 課題</p> <p>熊谷市は、全国に先駆けてクールシェアを実施してきたので、今年は打ち水のイベントと連携を図る予定であるが、コロナ禍で実現が困難になっている。また温暖化防止活動支援センターや立正大学地球環境科学部とも協力して温暖化防止の活動にも寄与したいと考えているがこれもコロナの影響により実現が難しい状況である。</p> <p>一方、昨年のワールドカップにより全国的に本市の知名度と魅力度がアップするとともに市民の力も結束する素地ができた。この機会をとらえて、今後訪問する来街者に対してさらなるアピールするものや事が求められている。</p> <p>(3) 重要性等</p> <p>エコネットくまがやは、地域の環境保全団体の中核として他の団体と協力して課題解決にあたる責任を感じている。</p>

### 3. 具体的な事業 内容

#### (1) あついぞ！熊谷打ち水大作戦2020

##### ① 打ち水サポーター養成講座の開催（7月5日（日））

打ち水をたくさんの人に知っていただくためにサポーター養成講座を市内のエコネットくまがやの本部（市内村岡2288）で開催する。認定されたサポーター（100名予定）は地元地域で打ち水をアピールする。サポーターには木札を配布する。

##### ② 一斉打ち水（本年8月8日（土））

午前11時の開会時と14時頃に、参加者で一斉に打ち水を行う。エコネットくまがや本部に特設ステージを開設し、それをFMくまがやの協力をいただき、SNSで配信する。打ち水を行う場所は、NPO本部のほか、サテライト会場（八木橋デパート周辺）、サポーターの自宅付近（事前に報告いただく）など。

##### ③ 打ち水音頭（本年8月8日（土））

市民参加で楽しめるように新作の「打ち水音頭」を作成し、振り付けを行って、SNSで配信する。

これも、リモートにて一斉打ち水の前のセレモニーの一環として実演する。会場は、エコネットくまがや本部にて行う。

##### ④ 打ち水ギャラリー

市内のデパート（八木橋デパート：市内仲町）周辺にサテライト会場を設置して、涼しくなるようなミスト発生装置などを展示してギャラリーとする。

併せて、環境団体や行政関係者の展示ブースを設ける。なお、クラスタの発生防止に配慮する。

#### (2) 私を植えて事業

これまで、毎年熊谷市主催の環境フェアや市民団体の市民まつり等の開催時に苗木の提供を行っていたが、両イベントの開催が困難な中で希望者に抽選により苗木をプレゼントすることで、都市緑化を進める。NPO内にプロジェクトチームを設置して、推進する。

##### ① 苗木配布本数 200本（種類：ムクゲ、ハクチョウゲ、イチョウ他）さいたま市内の原田園芸から安価での購入を予定している。

##### ② 市民に対して市報等で希望者を募集する。

予定数を超えた場合には、抽選により選ぶ。

##### ③ 配布方法 決められた日に会場まで取りに来ていただく。

#### (3) しめ縄づくり事業

参加者50名。熊谷市市民活動支援センター（市内曙町）と協力して行う。

大地の恵みの産物である、稲わらとそれを飾るウラジロや松葉などの自然に感謝して、環境を大切にするという意識をもった市民を作ることを目指す。

<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>○ 事業のスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="544 226 1390 757"> <tr> <th>時期</th><th></th></tr> <tr> <td>7 月</td><td>・ 打ち水実行委員会 ・ 打ち水サポーター養成講座開催 (7 月 5 日 (土))</td></tr> <tr> <td>8 月</td><td>・ 打ち水実施 (8 月 8 日 (土)) ・ 稲刈り</td></tr> <tr> <td>9 月</td><td>・ 稲の乾燥と選り分け作業 ・ 苗木の希望者募集</td></tr> <tr> <td>10 月</td><td>・ 苗木の配布</td></tr> <tr> <td>11 月</td><td>・ しめ縄づくりの準備</td></tr> <tr> <td>12 月</td><td>・ しめ縄作り本番</td></tr> <tr> <td>1 月</td><td></td></tr> <tr> <td>2 月</td><td>・ 報告書作成</td></tr> </table> <p>○ 広報計画について</p> <p>市報くまがやに掲載・チラシを作成、公民館等市役所関連施設に配布するほか当会法人会員や協力団体・企業にポスティングを行う。</p>	時期		7 月	・ 打ち水実行委員会 ・ 打ち水サポーター養成講座開催 (7 月 5 日 (土))	8 月	・ 打ち水実施 (8 月 8 日 (土)) ・ 稲刈り	9 月	・ 稲の乾燥と選り分け作業 ・ 苗木の希望者募集	10 月	・ 苗木の配布	11 月	・ しめ縄づくりの準備	12 月	・ しめ縄作り本番	1 月		2 月	・ 報告書作成
時期																			
7 月	・ 打ち水実行委員会 ・ 打ち水サポーター養成講座開催 (7 月 5 日 (土))																		
8 月	・ 打ち水実施 (8 月 8 日 (土)) ・ 稲刈り																		
9 月	・ 稲の乾燥と選り分け作業 ・ 苗木の希望者募集																		
10 月	・ 苗木の配布																		
11 月	・ しめ縄づくりの準備																		
12 月	・ しめ縄作り本番																		
1 月																			
2 月	・ 報告書作成																		
<p>5. 個々の事業の実施により達成したい成果の具体的な内容</p>	<p>(1) 打ち水大作戦 2020 (8 月 8 日 (土))</p> <p>NPO 法人エコネットくまがや本部、市内デパートのサテライト会場、講座を受けたサポーターの地元等において、打ち水に関心を持つ市民・県民が広く結集し、一斉に打ち水を実施することによって、一人一人が行動の積み重ねの重要性を認識することができる。それにより地球温暖化防止に寄与できるものとする。</p> <p>市民には、自宅での打ち水の画像のユーチューブへの投稿を呼び掛け、併せて、サテライト会場 (打ち水ギャラリー会場) と結んでライブ映像を SNS にて流すことにより、打ち水への関心を一層広げる効果が期待できる。</p> <p>(2) 私を植えて事業</p> <p>この事業を実施することにより、市民を中心に多くの県民が植樹の必要性、都市緑化の取り組みの重要性に気づくことができる。それにより植樹の普及に協力していただける方々が増加し、みどりの再生に寄与できるものと期待する。</p> <p>(3) しめ縄づくり</p> <p>市民を中心に多くの県民が、自然の恵みに感謝するとともに、それを活用する知恵と習慣を身につけることで、自然保護の機運が高まる。</p>																		

6. 事業の実施体制	<p>当法人の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 総括責任者：後藤素彦（代表理事）</li> <li>② 連絡責任者：依田英世（副代表理事）</li> <li>③ 現場責任者：森松寿夫（事務局長）</li> <li>④ 経理担当者：依田悦代（理事）</li> <li>⑤ 広報担当者：寺島悦子（理事）</li> </ul>
7. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「打ち水大作戦」については、来年こそ星川に戻って開催したいと希望するが、今後もコロナの影響が予想できない中、集合してのイベント開催の困難が予想される場合には、本年同様にSNSを使って配信する。打ち水音頭を全国に普及させて行く。</li> <li>・「私を植えて事業」については、街角や協力をしてもらう店舗の前に小樹木を入れた容器を置けるように工夫して市内の緑のオブジェとしてアクセントにして普及拡大していく。</li> <li>・「しめ縄づくり」は、農業振興都市としての熊谷の産業を見直し、文化を見直すための有望な方法であるので、指導者の養成に努めてより多くの参加者を集めていく。</li> </ul>
8. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「打ち水大作戦」は、埼玉県が推奨する事業であるが、当会ではいち早く実施し、10年以上継続して実施して来た。今後も埼玉県や熊谷市など行政と協力しながら県内の有望な打ち水の拠点として確実な地位を確保して、熊谷の風物詩としてなりつつあるのが優れた点である。</li> <li>・また、都市緑化の一端としての「私を植えて」事業は、ここ数年間、地道な活動として継続させている点が優れている。</li> <li>・「しめ縄づくり」は、農業振興都市としての熊谷の産業を見直し、文化を見直すための有望な方法であり、これは、他には見られないユニークで優れた事業である。</li> </ul>